



いすじろう通信

2021年度

「第6回」JVR養成講座」号

ようこそ！ 栗東自然観察の森へ 第6回JVR養成講座「草木で染める」の様子を紹介します。



はじめに：活動に先立ち、昇段認定表彰が執り行われました。自然観察の森 小山所長から、寒くなってきましたがお身体をご自愛くださいね♡とお言葉がありました。また、こうして自然の中での体験活動を継続することで講座生のみなさんの成長を講座の認定基準にもとづいて表彰していますと応援のことばもありました。では「草木で染める」をお楽しみください♡

草木染めを指導いただく講師の方は、ご自身もJVR養成講座の卒業生でいらっしゃる、染色アーティストの林優里先生です。林先生はJVRサポーターズでもあります。今年も講座のために時間を頂戴いただき大変にありがとうございます。では、ご指導の程、よろしくお願いいたします♡



JVR昇段表彰



スーパーJVR昇段表彰

今年の染材は、「枇杷(ビワ)」の葉っぱを選んでいただきました。どのような色に染まるかな？



工程① 染液づくり



お湯の準備



講座内容と安全管理確認



工程② 模様入れ



枇杷の葉を炊き出して、二番煎じを染液とされました。



染める布は、木綿のバンダナです。林先生に準備いただいた資料を参考に、自分の手で布に模様を入れていきます♡昨年までに、草木染めを体験されている講座生は、黙々と作業を進めていきます。全集中といったところですね♡
模様の入れ方は、布にビー玉などを入れて紐で縛ったり、形あるものを布に強く当てて固定します。すると、染色後に染液が染み込むところとそうでない場所に色の濃淡がでて模様は布に浮かぶのです。思い描いた模様がうかぶでしょうか、お楽しみの作業になります。

工程③ 前処理 / 工程④ 染色



布の素材と染液の種類によって、布を染液に漬ける時間や染液の温度を管理する必要があります。これまでは、夏に草木染めを行っていましたが、今回は、湿度も外気温度も低い冬での活動となりました。

草木がその体に宿した「色」を布に移します。自然の素材を生かすには、体験すること、そして自然を知ることが大切な作業になります。

森を散策 今年のテーマは・・・? 「森を知る」です! 布が染まるまでの時間を利用してしゅっぱ〜♡



工程⑤ 媒染 / 工程⑥ 水洗い・乾燥



媒染は「布」と「染材」をしっかりくっつけるための作業になります。今回も媒染液は「アルミ」と「鉄」を準備いただきました。この媒染液は、どちらを使用するかで仕上がりの布の色が変わります。もちろん、同じ一枚の布で別々の媒染液を利用することができます。この場合、媒染液が混ざらないように、しっかり作業の進め方を聞いて、その手順を守ってください。

最後に、媒染が終わった布を水洗いして、縛った紐を解いていきます♡



第7回JVR養成講座の予告



番外編：班別対抗戦の優勝チーム 1班歓喜の様子

ふりかえり

林先生、草木染めのご指導ありがとうございました。今回は、水が冷たい冬の森での作業となりましたが、枇杷が持つ独特の色合いにやや紫色が浮かぶ色に染まりました。枇杷の葉っぱさんにも感謝の気持ちを述べさせていただきます。ありがとうございました。

JVRサポーターズの皆さまにも、事前準備並びに当日の染液づくり並びに、講座生への目配りと指導について大変、ありがとうございました。では、次回の講座をお楽しみに♡